

えがおを、ずっと。えがおに、ずっと。



第92期事業報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

川本産業株式会社

証券コード 3604



会社概要

■会社概要 (2022年3月31日現在)

社名 川本産業株式会社
設立 1931年1月
資本金 883,000,000円
従業員数 239名(単体、出向・契約・パートアルバイト除く)

■役員 (2022年6月21日現在)

※代表取締役社長 福井 誠
※常務取締役 吉田 康晃
※取締役 小澤 徹也
※取締役 河野 寿序
※取締役 内海 博明
取締役 監査等委員 福田 健太郎
取締役 監査等委員(社外) 親泊 伸明
取締役 監査等委員(社外) 小寺 美帆
取締役 監査等委員(社外) 小玉 帆稔

※印の取締役は、執行役員を兼務しております。

■執行役員 (2022年6月21日現在)

上席執行役員 東 島口 正
上席執行役員 濱 川 武
執行役員 花 村 亮
執行役員 山 田 哉
執行役員 藤 本 真
執行役員 吉 村 真信

■株主メモ (2022年3月31日現在)

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月下旬
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都中央区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社
上場取引所 スタンダード市場
証券コード 3604

■株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数……………16,000,000株
発行済株式の総数……………6,000,000株
株主数……………5,111名

■大株主 (2022年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
エア・ウォーター株式会社	2,903	50.10
株式会社TK	269	4.65
川本 武	243	4.20
楽天証券株式会社	66	1.14
佐々木 愛子	36	0.62
小津産業株式会社	33	0.58
日本証券金融株式会社	33	0.57
野村證券株式会社	30	0.52
川本 稔	28	0.48
株式会社大木	26	0.45

※1. 持株比率は自己株式(204,480株)を控除して計算しております。
※2. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

■事業所

本 社 大阪府大阪市中央区谷町2-6-4 谷町ビル
東京支社 東京都中央区新川1-24-1 DAIHO ANNEX 8階
名古屋営業所 愛知県名古屋市中区千代田5-5-15
広島営業所 広島県広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル9階
大阪工場 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東3-14-20

子 会 社 浙江川本衛生材料有限公司 中国浙江省
ニシキ株式会社 福岡県福岡市博多区綱場町8-23 朝日生命福岡昭通ビル2階
株式会社サカキ L & E ワイズ 三重県松阪市上川町3639-21

川本産業株式会社

〒540-0012 大阪府大阪市中央区谷町2-6-4 谷町ビル TEL.06-6943-8951



この報告書は、環境に配慮し、
植物油インクを使用しています。



川本産業株式会社



代表取締役社長執行役員 **福井 誠**

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第92期（2021年4月1日から2022年3月31日）を終了いたしましたので、業績の概要及び今後の取組みについてご報告申し上げます。

当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大によって緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の発令や延長が繰り返され、経済活動は大きく制限を受けました。

下期に入ってから感染患者数も減少し、経済活動の回復が期待されたものの、2022年1月以降では、オミクロン株による感染再拡大に加え、ウクライナ情勢に起因する資源や原材料価格の高騰など、未だ先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループが属する医療衛生材料業界は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、世界規模で感染防止や公衆衛生への意識が高まり、国内では医療機関のみならず、商業施設や一般家庭においても感染防止に対する取組みが行われるようになりました。

結果、全国的にマスクや手指消毒剤をはじめとした感染管理製品の需要が高まり、市場は大きく拡大いたしました。

当期は前期と比べ、品薄だった感染管理製品も潤沢に市場に出回っており、感染管理製品の需要は減少しております。また、当業界は政府による医療費適正化に向けた取組みの流れの中にあり、衛生材料を含む医療消耗品は引き続き価格競争に晒されており、加えて、原材料費の高騰やサプライチェーンの問題など、厳しい事業環境が継続すると予想されます。

育児用品の業界におきましては、2021年の国内出生数が前年同様85万人を下回る見込みであることから、引き続きマーケットの縮小に直面しており、こちらも厳しい事業環境が予想されます。

このような状況の下、当連結会計年度においては、継続して感染管理製品や口腔ケア製品を重点販売製品として拡販することに加え、工場稼働率を上げるための設備投資や製造受託の拡大、医療機関や商業施設、一般家庭の感染防止に貢献する製品開発、全社をあげた経費削減等に取り組みました。感染管理製品の販売に関しては、前期ほどの特需はないものの、新型コロナウイルス感染症の拡大前と比較すると市場は拡大しており、販売額は増加しております。

同連結会計年度の業績につきましては、売上高は30,091,616千円（前年同期比2.5%減）、営業利益は740,807千円（同43.3%減）、経常利益は856,914千円（同37.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は642,619千円（同53.1%減）となりました。

【経営体制】

地位	氏名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役社長執行役員	福井 誠	営業統括 ニシキ株式会社取締役 株式会社サカキL&Eワイズ取締役
常務取締役執行役員	吉田 康晃	経営企画・管理統括 兼 経営企画室室長 兼 内部監査室室長 浙江川本衛生材料有限公司董事 ニシキ株式会社取締役 株式会社サカキL&Eワイズ取締役
取締役執行役員	小澤 徹也	購買物流・品質保証統括 兼 購買物流本部本部長 浙江川本衛生材料有限公司董事長
取締役執行役員	河野 寿序	ニシキ株式会社代表取締役社長
取締役執行役員	内海 博明	生産統括 兼 生産本部本部長
取締役（監査等委員）	福田 健太郎	エア・ウォーター株式会社顧問 公益財団法人浅香山病院評議員 国立大学法人神戸大学特別顧問
社外取締役（監査等委員）	親泊 伸明	日本経営ウイール税理士法人顧問 社会保険労務士法人日本経営代表社員 税理士親泊伸明事務所代表
社外取締役（監査等委員）	小寺 美帆	弁護士法人大江橋法律事務所パートナー
社外取締役（監査等委員）	小玉 稔	ジャパンエステート株式会社顧問

セグメント別の概況

（メディカル事業）

メディカル事業では、感染管理製品の販売を中心に、口腔ケア製品やその他高付加価値製品の販売拡充及び製造受託の拡大推進に努めました。売上面では、感染管理製品の販売について、前期ほどの特需はないものの、拡大した市場に対して積極的に販売いたしました。衛生材料や口腔ケア製品、手術関連製品については、医療機関における外来・手術件数の減少などの影響により、計画未達となりました。

結果、売上高は8,619,155千円（前年同期比12.7%減）、経常利益は385,591千円（同54.5%減）となりました。

(コンシューマ事業)

コンシューマ事業では、感染管理製品、育児用品、介護製品、口腔ケア製品、各種衛生材料及び医療用品等の幅広い製品を、大手量販店、ドラッグストアや通信販売事業者などの多くの顧客に対し販売をいたしました。感染管理製品については、前期と比較すると販売価格が下落傾向にあり、利益率は低下しております。

結果、売上高は21,472,461千円(前年同期比2.4%増)、経常利益は967,037千円(同3.2%減)となりました。

次年度への課題

次期、2023年3月期の見通しにつきまして、大きな感染管理製品の特需はないものの、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況から、拡大した感染管理製品の市場規模は継続すると想定しております。感染管理製品以外の医療衛生材料につきましては、医療費削減の流れより、引き続き価格競争に晒され、国内において厳しい事業環境が継続すると予想しております。

加えて、ウクライナ情勢に起因する資源や原材料価格の高騰によって製造原価が上昇しており、利益確保への一層の努力が必要と認識しております。

このような状況の下、当社は、引き続き「自社製品の売上高の拡大」及び「利益率の改善」を最重要課題として、取組みを継続してまいります。「自社製品の売上高の拡大」につきましては、拡大した感染管理製品の市場に対して積極的な販売促進活動を継続し、加えて新製品開発にも取り組んでまいります。また、他社から医療機器を中心とした製造受託を拡大する活動に注力し、製造受託事業を収益の一つの柱にすべく取組みを継続いたします。

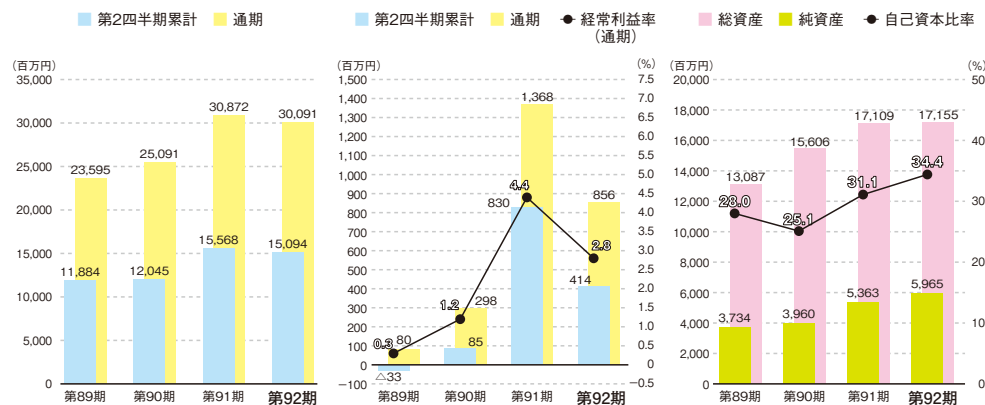
「利益率の改善」につきましては、手術関連製品などの高付加価値製品を拡販することに加え、工場稼働率を上げるための設備投資や全社をあげた経費削減に取り組んでまいります。さらに、事業拡大を目的として、医療や介護、育児に関する事業を営む企業のM&Aも実施していきたいと考えております。

品質保証体制につきましては、継続して効率的で高品質な生産体制を確立するための積極的な投資を図るとともに、品質保証体制の着実な運用を通じてお客様の信頼に応える品質確保に努めてまいります。

売上高

経常利益/経常利益率

総資産/純資産/自己資本比率



連結貸借対照表

(単位:千円)

	当 期 (2021年4月1日~2022年3月31日)	前 期 (2020年4月1日~2021年3月31日)
流動資産	13,476,301	13,482,046
固定資産	3,679,240	3,627,433
有形固定資産	2,016,946	1,647,068
無形固定資産	544,412	512,876
投資その他の資産	1,117,881	1,467,487
資産合計	17,155,542	17,109,479
流動負債	8,221,574	7,935,629
固定負債	2,968,696	3,810,213
負債合計	11,190,271	11,745,843
株主資本	5,430,969	4,875,625
その他の包括利益累計額合計	475,547	438,008
非支配株主持分	58,753	50,002
純資産合計	5,965,271	5,363,636
負債純資産合計	17,155,542	17,109,479

連結損益計算書

(単位:千円)

	当 期 (2021年4月1日~2022年3月31日)	前 期 (2020年4月1日~2021年3月31日)
売上高	30,091,616	30,872,223
売上原価	24,770,123	24,975,210
売上総利益	5,321,493	5,897,013
販売費及び一般管理費	4,580,685	4,591,042
営業利益	740,807	1,305,971
営業外収益	137,863	120,488
営業外費用	21,755	57,860
経常利益	856,914	1,368,599
特別利益	89,148	1,100
特別損失	694	3,652
税金等調整前当期純利益	945,369	1,366,046
法人税、住民税及び事業税	196,041	295,635
法人税等調整額	97,956	△ 308,610
当期純利益	651,371	1,379,021
親会社株主に帰属する当期純利益	642,619	1,370,591

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当 期 (2021年4月1日~2022年3月31日)	前 期 (2020年4月1日~2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	466,913	977,744
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 326,654	△ 141,751
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 444,193	△ 680,653
現金及び現金同等物に係る換算差額	49,434	8,966
現金及び現金同等物の増減額	△ 254,499	164,306
現金及び現金同等物の期首残高	1,359,921	1,195,615
現金及び現金同等物の期末残高	1,105,422	1,359,921

ステアジェル 単包タイプ 2021年10月 発売

新発売

手指消毒剤「ステアジェル」の単包タイプを、業務用に新発売いたしました。1回の消毒に十分な2ml入りで、必要な時に簡単に感染対策ができます。

- ◆ 宿泊施設でのアメニティに
- ◆ お弁当等のテイクアウトに
- ◆ レストランでのカラトリーと一緒に
- ◆ 商談、展示会等でのノベルティに



ウィズエール 防水シート／ウィズエール 防水マット 2021年10月 発売

新発売

介護製品ブランド「ウィズエール」から、「防水シート半身タイプ両面」と「防水マットコンパクトタイプ」をラインアップに追加いたしました。

- 防水シート半身タイプ両面
 - ◆ 巻き込み式半身タイプ
 - ◆ 両面使える三層構造で、耐久性に優れ経済的
- 防水マットコンパクトタイプ
 - ◆ 消臭効果のある繊維を使用
 - ◆ シートをモレから守るコンパクトタイプ



「ウィズエール」ブランドサイト開設
URL : <https://with-yell.com/>

PPE (個人防護具)、袖無しディスポエプロン 2021年10月 発売

新発売

感染対策にご使用いただけるPPE製品を新発売いたしました。感染リスクに応じて、他のPPE製品と組み合わせてご使用ください。

- 製品ラインアップ
- 袖無しディスポエプロン
 - アイソレーションガウン
 - ソフトキャップ
 - サージカルキャップ
 - シューズカバー



キレイマスク 2021年11月 発売

新発売

肌がきれいに見えるピンク・ベージュの2色セットの「キレイマスク」を新発売いたしました。

- ◆ 3層構造のフィルターで飛沫をブロック
- ◆ 立体プリーツで息苦しさを軽減
- ◆ ノーズワイヤーでぴったりフィット
- ◆ 痛くなりにくい柔らかい耳ゴム

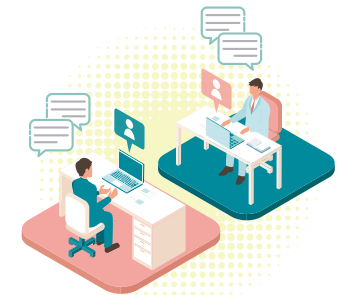


ESG報告

柔軟で多様な働き方を実現する職場環境の整備

コロナ禍で在宅勤務やオンライン会議等が拡大する中、当社においても働き方改革の一環としてデジタル化への対応など、職場環境の整備を進めております。

在宅勤務と出社をバランス良く併用し、新型コロナウイルスの感染リスクを回避しながら業務ができる環境を目指し、現在は受発注や請求業務の電子化、オンライン会議用のモニター・スピーカーの増設、電子契約導入に向けた社内インフラの整備を進めております。



地域貢献にむけた当社の取組みについて

当社では地域貢献活動の一環として大阪市地域福祉協議会様にステアジェル5,000本を寄付し、大阪市内約40ヶ所の保育園や保育所、高齢者施設内でご使用いただきました。

その他、忠岡町、泉大津市、高石市、和泉市などの自治体への寄付も積極的に行っております。



❖東京証券取引所 新市場区分についてのお知らせ❖

川本産業株式会社は東京証券取引所の新市場区分の変更により、2022年4月4日よりスタンダード市場へ移行いたしました。引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。